

小値賀地区「小値賀学（地域探究）」の紹介

小中高一貫教育を実践する小値賀町では、児童生徒の「キャリアプランニング能力」を向上させるために町議会と連携した活動を発達段階に応じて行っています。

本校では「総合的な探究の時間」の中で3年間にわたり生徒たちが「地域探究活動」に励み、研究成果（町への提言）を「卒業レポート発表会」で発表しています。

小学校6年生 キーワード:「知る」

町議会を見学して議会制度の仕組みや役割に触れることで、議会の中でどのようなことが行われ、自分たちの暮らしとどのように結びついているかを知る。

中学校3年生 キーワード:「問う」

町について現状や課題を調査・分析した上で「模擬議会」を実施して生徒が町議員に質問する。資料を整理しながら多面的・多角的に考察を行い、町の発展に寄与する態度を養うことにつなげる。

高校3年生 キーワード:「提案する」

町が抱える課題の現状と背景についてフィールドワークを通して分析し、解決策を町議会に提案する。故郷・小値賀について学び、小値賀をさらに魅力ある場所にするために自分から主体的に働きかけていく小中高一貫教育12年間の集大成と位置付ける。



北松西高校「地域探究活動」の目標

探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会に関わる総合的な探究活動を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

(1) 地域に関わる探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。

【知識及び技能】

(2) 地域と自分自身との関わりから問いを見だし、自分で仮説を立てて調査・分析する力を身に付けるとともに、論理的にまとめて表現する力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】

(3) 地域に関わる探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、地域活性化を実現するために行動し、地域社会に貢献しようとする態度を育成する。

【学びに向かう力・人間性等】

「小値賀のために、私たち高校生にできることは何か？」

本校の地域探究活動で最も大切にしていることは『自分たちに何ができるか？』を考えることです。町議会への解決策提案は、地域の将来を人任せ・行政任せにするようなものではなく、高校生が地域活性化に向けて積極的に関わるものを考えるようにしています。高校生が自ら学び、考え、行動する姿勢が地域全体に広がっていくことを願っています。

